



諸橋 轍次 博士の志を継承 第17回諸橋轍次博士記念漢詩大会
11月8日（土）は記念講演、9日（日）は表彰式と流觴曲水も

三条市名誉市民で「大漢和辞典」の編者である諸橋轍次博士の志を継承し、漢字文化の振興を図るため、第17回諸橋轍次博士記念漢詩大会を開催します。記念講演のほか、漢詩受賞者の表彰式と流觴曲水を行います。

【本件のポイント】

- 諸橋轍次博士の志を継承し、漢字文化の振興を図るため、「第17回諸橋轍次博士記念漢詩大会」を開催。記念講演、表彰式、流觴曲水を実施

【本件の概要】

1 第17回諸橋轍次博士記念漢詩大会

諸橋轍次博士の志を継承し、漢字文化の振興を図るため、全国から漢詩を募集、実施しています。今年度は、全国各地から247人、362首が応募、82人が受賞されました。

(1) 記念講演

ア とき・ところ

11月8日（土）午後2時～3時30分 諸橋轍次記念館

イ 演 題 漢文学の『説（よろこ）』びと『楽（たの）』しみ

ウ 講 師 山形大学教授 三上 英司 さん

(2) 表彰式

ア とき・ところ 11月9日（日）午前10時 諸橋轍次記念館

イ 出席者 三条市長、来賓、受賞者

(3) 流觴曲水

ア とき・ところ

11月9日（日）午前11時 ※雨天中止 諸橋轍次記念館

イ 内 容 表彰式の出席者が庭園で漢詩を詠みます。

(4) その他

ア 問い合わせ 諸橋轍次記念館 漢詩大会係（電話：0256-47-2208）

イ 参加方法

事前の申し込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

■流觴曲水

曲がりくねった水流に杯を浮かべ、その杯が自分の前を過ぎないうちに詩を作り、杯を取り上げて酒を飲む風流な遊び。当日は、国内では珍しい漢詩による曲水の宴を行います。

■諸橋 轍次（1883-1982 年）

三条市（下田地域）で誕生。父の影響で幼少期から漢学に触れ、教師を目指して東京高等師範学校に入学。卒業後は教師をしつつ漢学の研究を深め、当時の文部省から中国留学を命ぜられる。帰国後、大漢和辞典の編さんを始める。当時の宮内省から皇太子明仁親王殿下（現在の上皇陛下）への漢学のご講義を委嘱され、浩宮様（現在の天皇陛下）ご誕生の際にはお名前選びの一人になる。昭和 35 年までに大漢和辞典全 13 巻を刊行。昭和 37 年下田村名誉村民に選ばれる。昭和 40 年文化勲章、昭和 51 年勲一等瑞宝章を受章



諸橋轍次記念館ホームページ

【問い合わせ】三条市市民部 生涯学習課 生涯学習推進係 柴野
電話：0256-47-0048